

平成30年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (神奈川)

市民公開シンポジウム

教師が考える

学校動物飼育活動のあり方と効果

平成31年2月10日 (日)

15時半から17時

新横浜プリンスホテル4階 (若菜)



講演 「学校で動物を飼うことの意味と教育方針」
茂呂 美恵子 校長 (大田区立田園調布小学校)

講演 「継続的な学校飼育動物の実践と飼育することの価値」
三橋 正英 教諭 (相模女子大学小学部)

座長 桑原 保光 (日本獣医師会学校動物飼育支援対策検討委員会委員長)

パネリスト 木村 芳之 日本獣医師会 動物福祉・愛護部会長

パネリスト 處 愛美 日本獣医師会 学校動物飼育支援対策検討委員会副委員長

学校における適正な動物飼育体験は、子どもの豊かな心を育てるとともに学ぶ意欲を高め、生きる力を育むことにつながります。学校での動物飼育においては、子どもにただ動物を飼わせるだけでなく、教師がきめ細かで適切な指導をすることで、子供に対する教育的効果が飛躍的に高まります。

そこで、本シンポジウムでは、学校動物飼育の先進校2校の取組みを紹介することといたしました。教育側の視点から、どのように動物を教育に取り入れていけば子供達に素晴らしい効果を与えられるのか、成功モデルとして参考にさせていただきますと幸いです。

主催：  公益社団法人 日本獣医師会

いのちみつめる。いのち育む。